

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

A & D ホロンホールディングス

証券コード 7745

< ご注意 >

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

| Contents

1 2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3 2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4 2023年3月期通期業績予想（上方修正）		P20
5 株主還元		P24
6 APPENDIX		P26

当社は当社連結子会社である株式会社ホロンと経営統合をし、2022年4月1日からA & Dホロンホールディングスとして始動しました。つきましては、2022年3月期はA&Dの業績結果、2023年3月期はA & Dホロンホールディングスの業績予想となっております。

| Contents

1 2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3 2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4 2023年3月期通期業績予想（上方修正）		P20
5 株主還元		P24
6 APPENDIX		P26

第2四半期会計期間は売上高15,180百万円、営業利益2,046百万円で、共に過去最高を更新
好調な受注状況を背景に、全事業において前年同期比増収を継続、通期業績予想を上方修正

2Q累計
売上高

27,162百万円

前年同期比
113.8%

2Q累計予想達成率
111.8%

2Q累計
営業利益

1,826百万円

前年同期比
85.6%

2Q累計予想達成率
92.3%

- 利益面では半導体関連、計測・計量機器は前年同期比増益、医療・健康機器においては部材費及び経費など高止まりの影響により前年同期比において若干の減益
- 各事業の足元の受注状況は引き続き好調に推移、海外売上高も堅調
- 部材費高騰や資源高の影響については、継続的販売の拡大による増収効果と販管費の削減により最小限に抑える

2023年3月期第2四半期 業績の概況

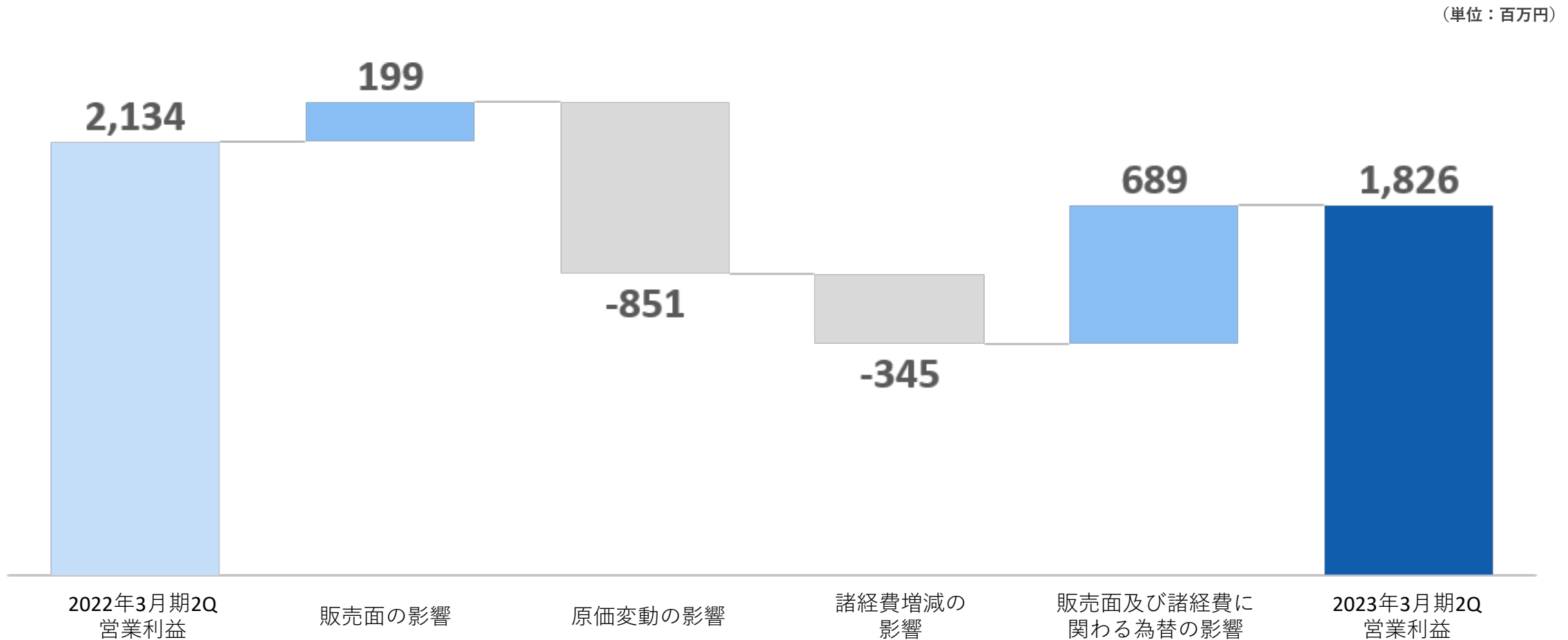
好調な受注状況に加え、為替の影響により売上高は大幅増となり当初予想を上回る。利益は大幅に改善

(単位：百万円)	22/3期		23/3期			(参考) 2023/3期 2Q累計予想	
	2Q 累計	1Q 4月～6月	2Q 7月～9月	2Q 累計	前年同期比	2Q累計 予想	達成率
売上高	23,876	11,981	15,180	27,162	113.8%	24,300	111.8%
売上原価	13,324	7,604	8,360	15,965	119.8%	—	—
販売費及び 一般管理費	8,417	4,596	4,774	9,370	111.3%	—	—
営業利益	2,134	-219	2,046	1,826	85.6%	1,980	92.3%
経常利益	2,234	-1	2,234	2,232	99.9%	1,920	116.3%
税引き前利益	2,170	-6	2,234	2,227	102.7%	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,363	-159	1,625	1,465	107.5%	1,300	112.7%
1株当たり 四半期純利益 (円)	66.02	-5.83	59.25	53.43	-12.6円	47.40	+6.03円

※ 未実現利益消去額は、第1四半期比100百万円減少

営業利益増減要因（前年同期比）

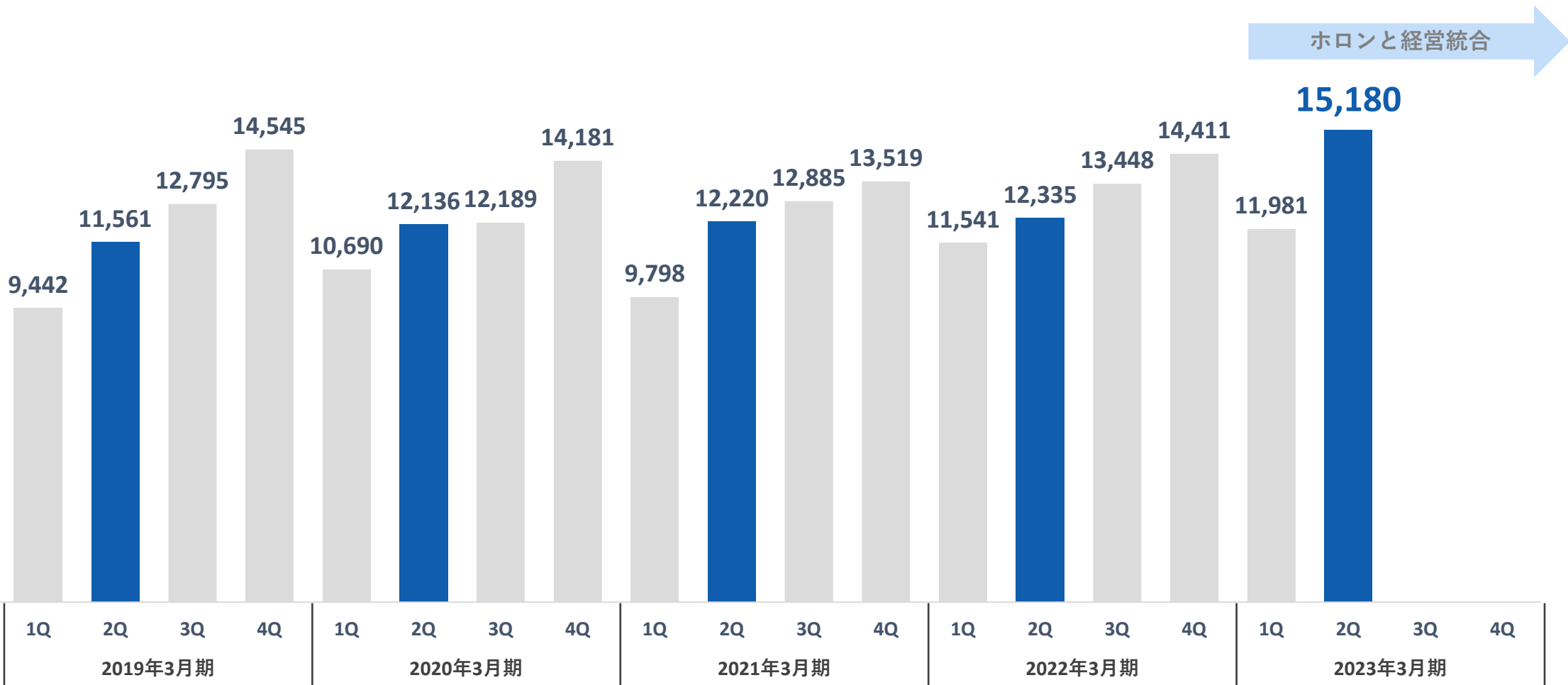
増収効果で売上総利益が増加したことで利益は大幅に改善、為替動向に伴う棚卸資産の未実現利益消去に係る売上原価増も改善傾向



四半期別売上高の推移

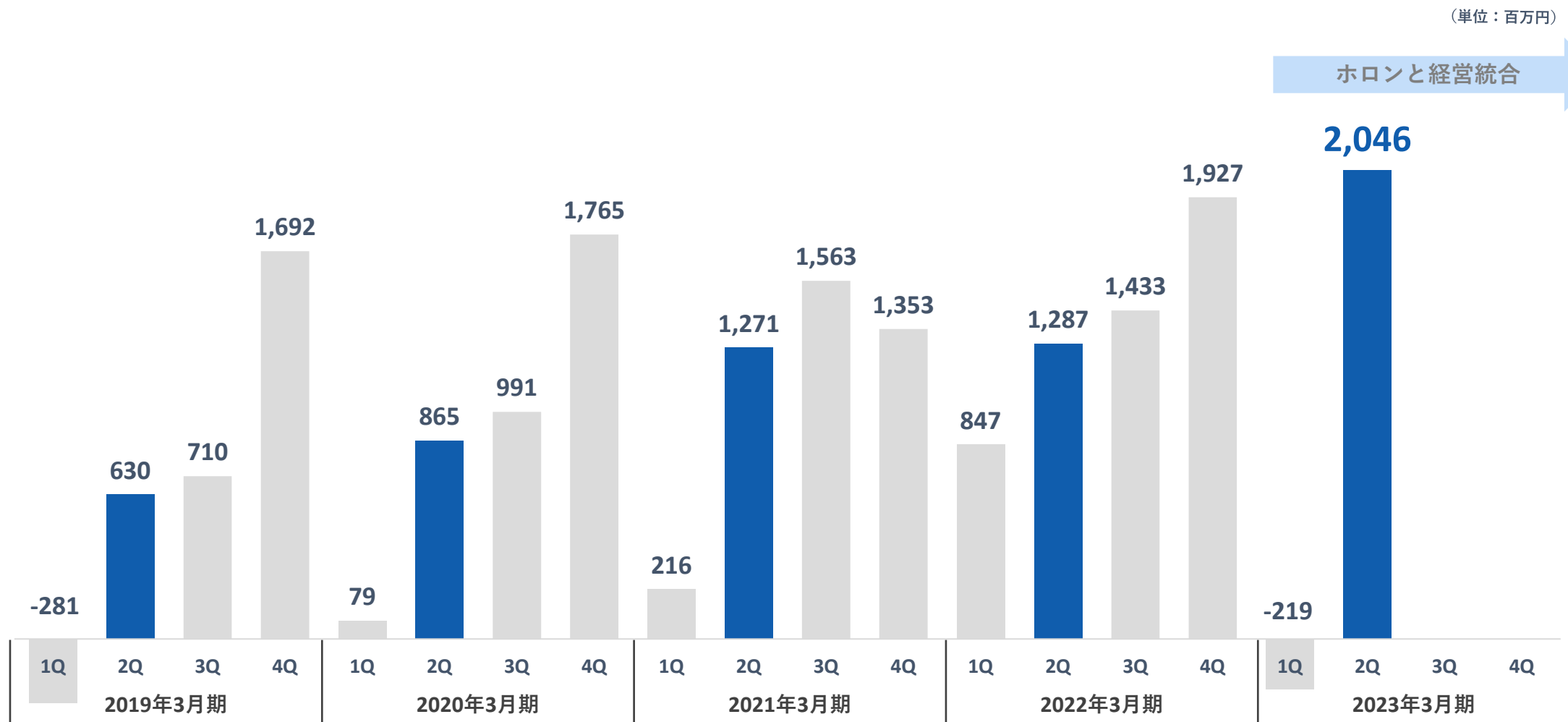
過去最高の四半期売上高を更新

(単位：百万円)

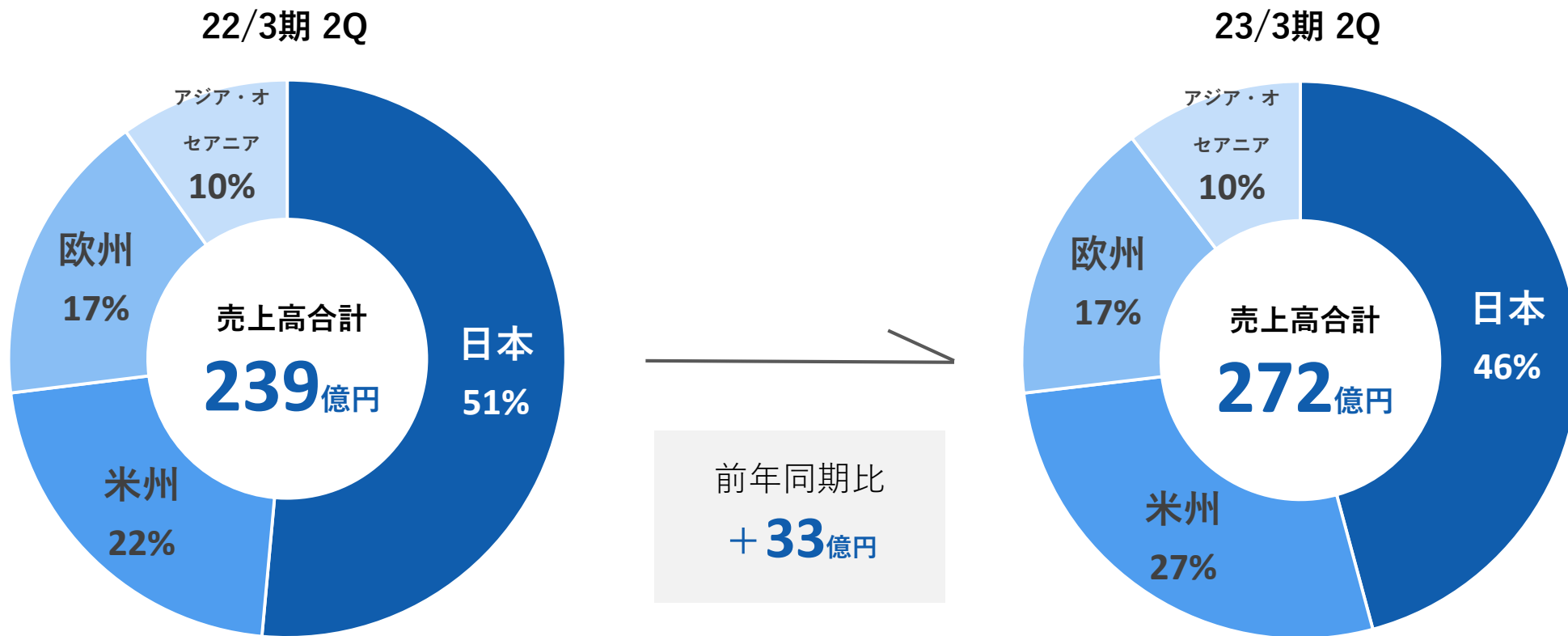


四半期別営業利益の推移

過去最高の四半期営業利益を更新



海外の売上高増が全体の業績をけん引



(単位：百万円)

地域	22/3期 2Q	構成比	23/3期 2Q	構成比	前年同期比
日本	12,283	51.4%	12,441	45.8%	101.3%
海外	11,590	48.5%	14,717	54.2%	127.0%

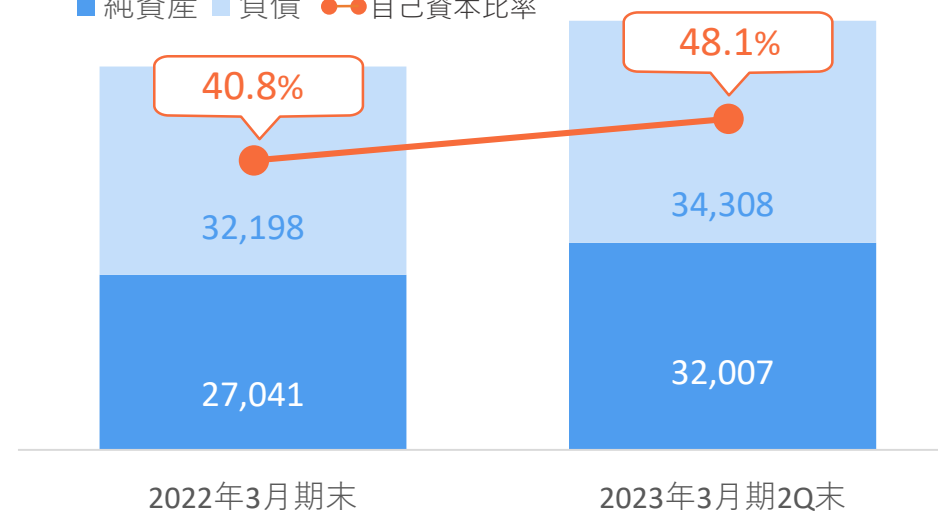
財務状況 2023/3期2Q末

※（ ）内は2022/3期末日



負債・純資産・自己資本比率

■ 純資産 ■ 負債 ● 自己資本比率 (単位：百万円)



(単位：百万円)	2022年3月期	2023年3月期2Q
流動資産	43,946	50,104
固定資産	15,292	16,210
資産合計	59,239	66,315
流動負債	26,202	28,767
固定負債	5,995	5,541
負債合計	32,198	34,308
純資産合計	27,041	32,007

- ① 現金及び預金の増加 **16.4億円**
- ① 商品及び製品、仕掛品の増加 **35.6億円**
- ① 原材料及び貯蔵品の増加 **9.2億円**
- ② 支払手形及び買掛金の増加 **8.8億円**
- ② 短期借入金の増加 **16.0億円**
- ③ 株主資本の増加 **39.1億円**

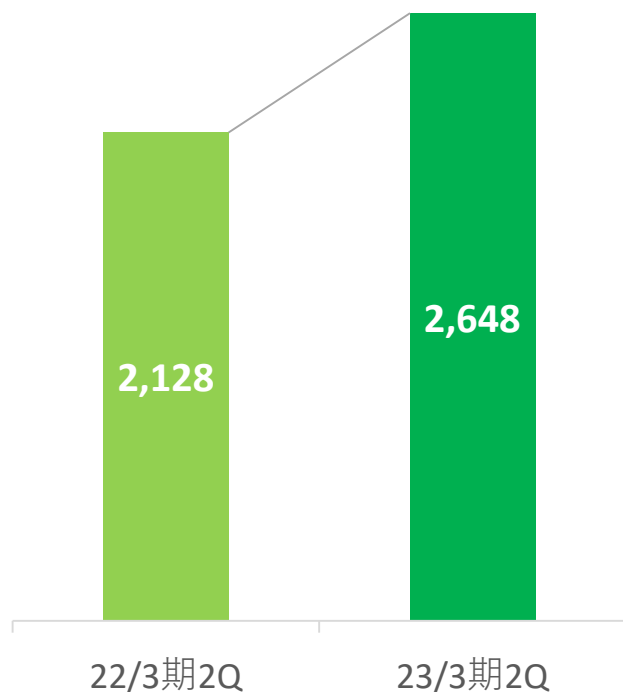
| Contents

1	2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2 	2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3	2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4	2023年3月期通期業績予想	(上方修正)	P20
5	株主還元		P24
6	APPENDIX		P26

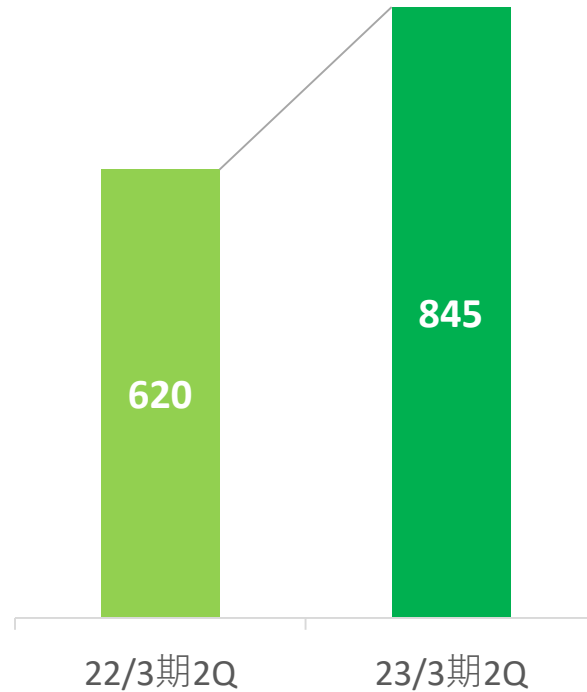
売上高 前年同期比 124.4%、営業利益 前年同期比 136.2% 増収増益

(単位：百万円)

売上高



営業利益



- 当初の計画通りに出荷・検収が完了し想定通りの業績進捗へ
- 半導体に対する更なる微細化要求は堅調、最先端領域への投資は継続を見込む
- 引合・受注はA&D、ホロン共に活発な状況が継続

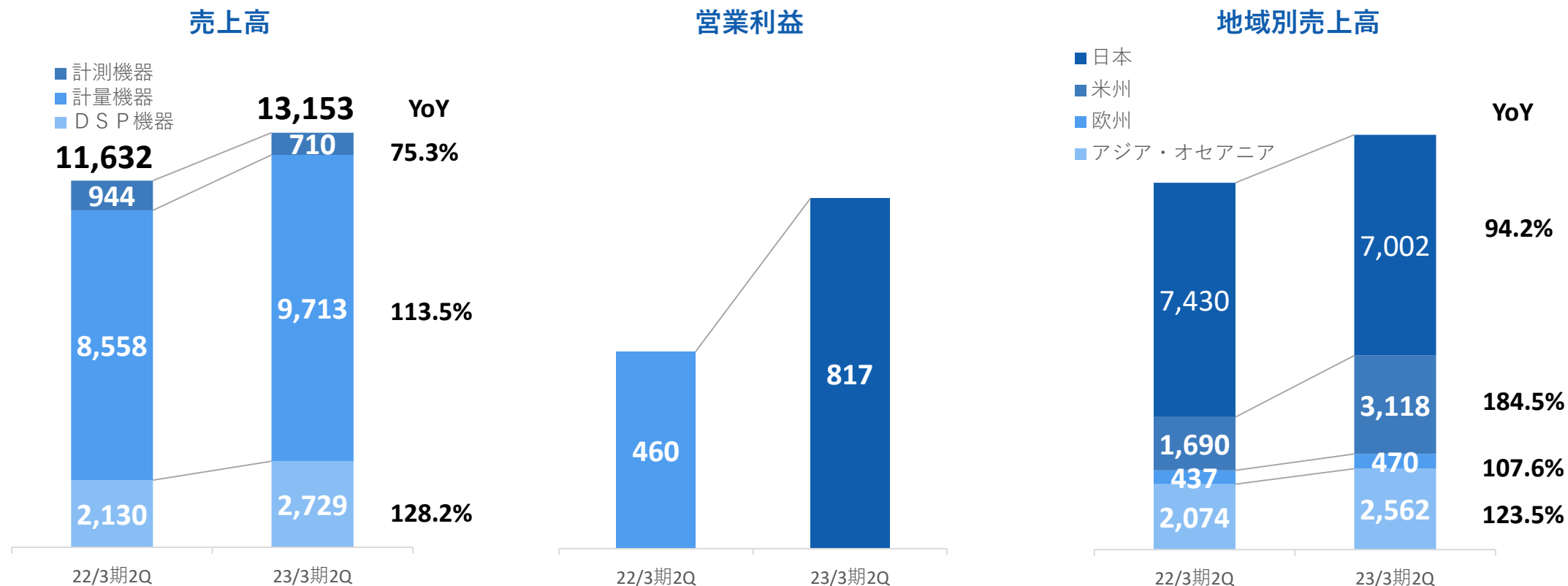
※半導体関連事業は国内のみ

売上高 前年同期比 113.1%、営業利益 前年同期比 177.3% 増収増益

日本： 試験機やDSP案件の一部に遅れが生じるが、セグメント全体業績に影響無し (単位：百万円)

米州： 主力の計量機器が引き続き好調に推移、汎用天秤の特需もあり売上、利益ともに大きく増加

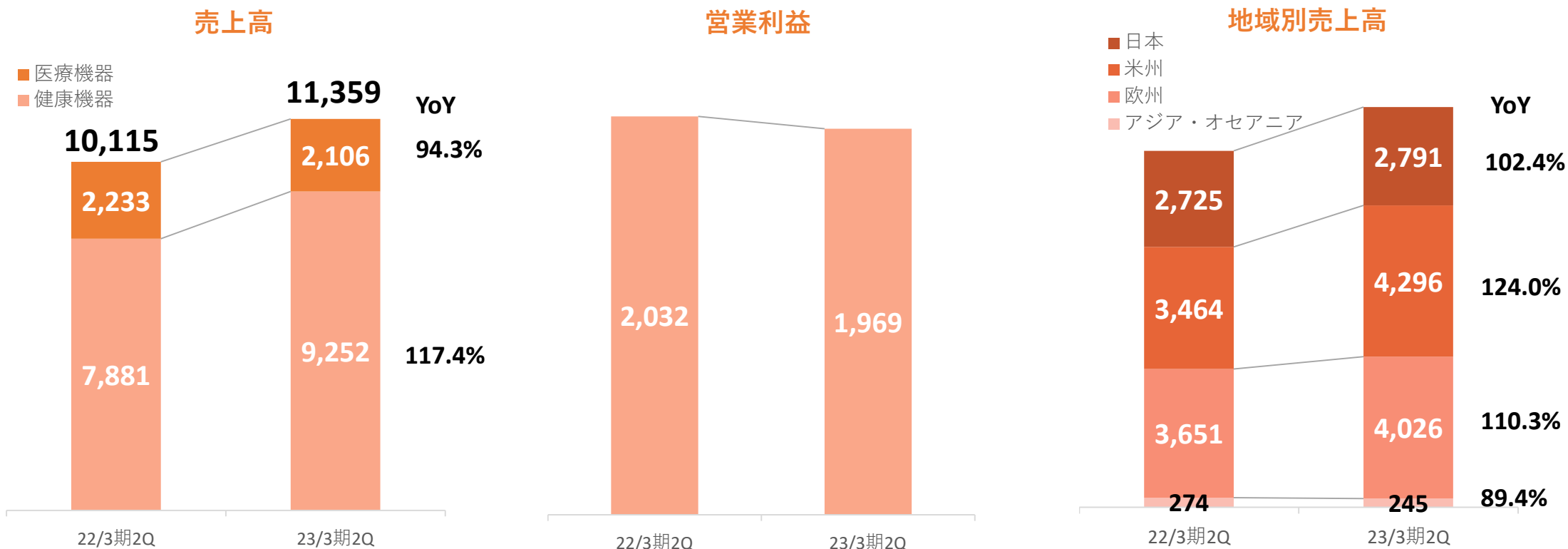
アジア・オセアニア： 韓国における計量機器やインドにおける金属検出器・ウェイトチェッカの売上が伸長
 なお、利益については、増産対応とともに生産効率化を図ることで大幅増加

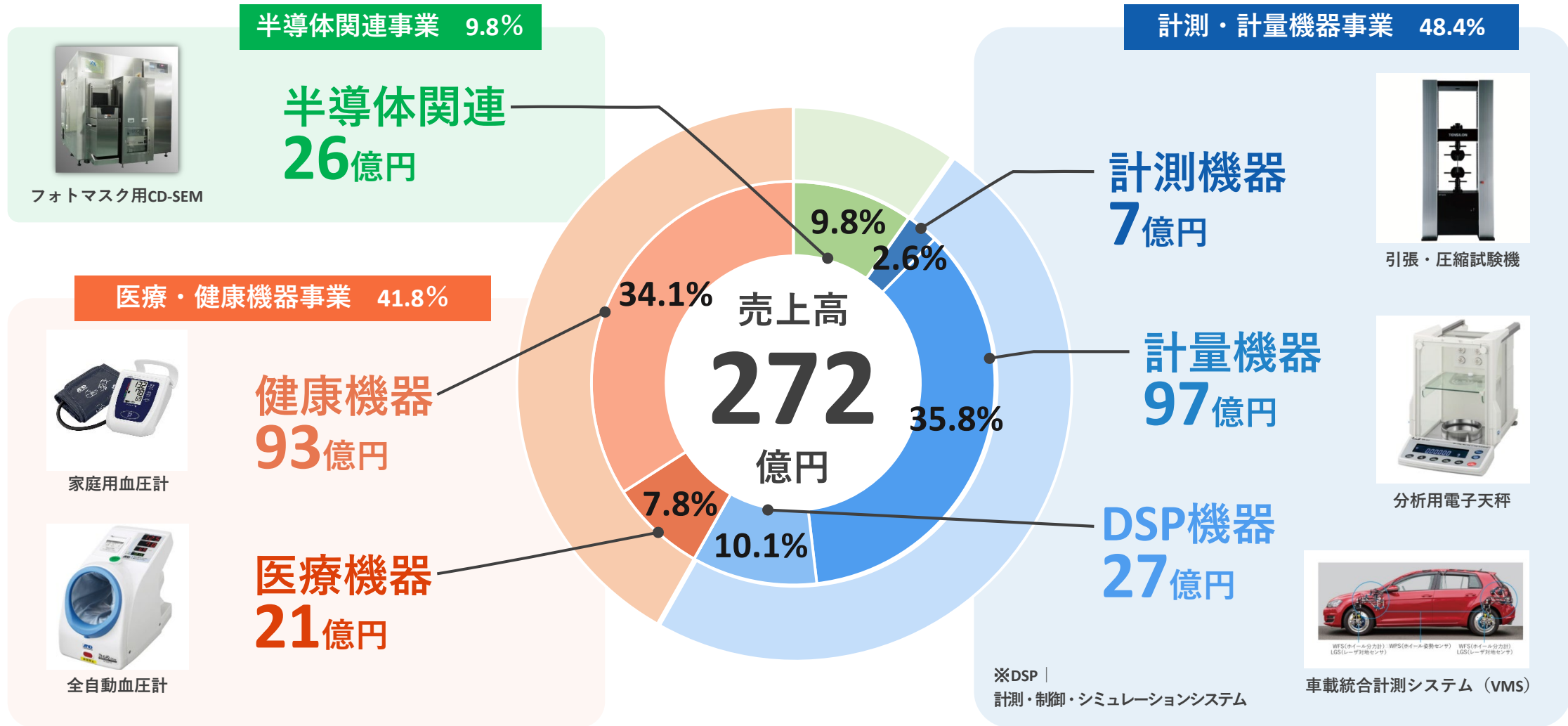


売上高 前年同期比 112.3%、営業利益 前年同期比 96.9% 増収減益

- 日本： 病院向けの看護用血圧計需要が一服し医療機器の売上は減少、家庭用血圧計等の需要は好調に推移
- 米州： 米国における大口案件の継続に加え、カナダにおいても一般消費者向けの家庭用血圧計の売上が伸長
- 欧州： 一部の地域において販売台数の減少が見られるものの円安の影響が大きく円換算後の売上、利益ともに増加
なお、利益については、原材料価格高騰の影響や航空便を含む米国向け輸送費の高騰が影響し減少

(単位：百万円)





フォトマスク用CD-SEM

半導体関連事業 9.8%

半導体関連
26億円

計測・計量機器事業 48.4%

計測機器
7億円



引張・圧縮試験機

医療・健康機器事業 41.8%



家庭用血圧計

健康機器
93億円



分析用電子天秤

計量機器
97億円



全自動血圧計

医療機器
21億円

DSP機器
27億円



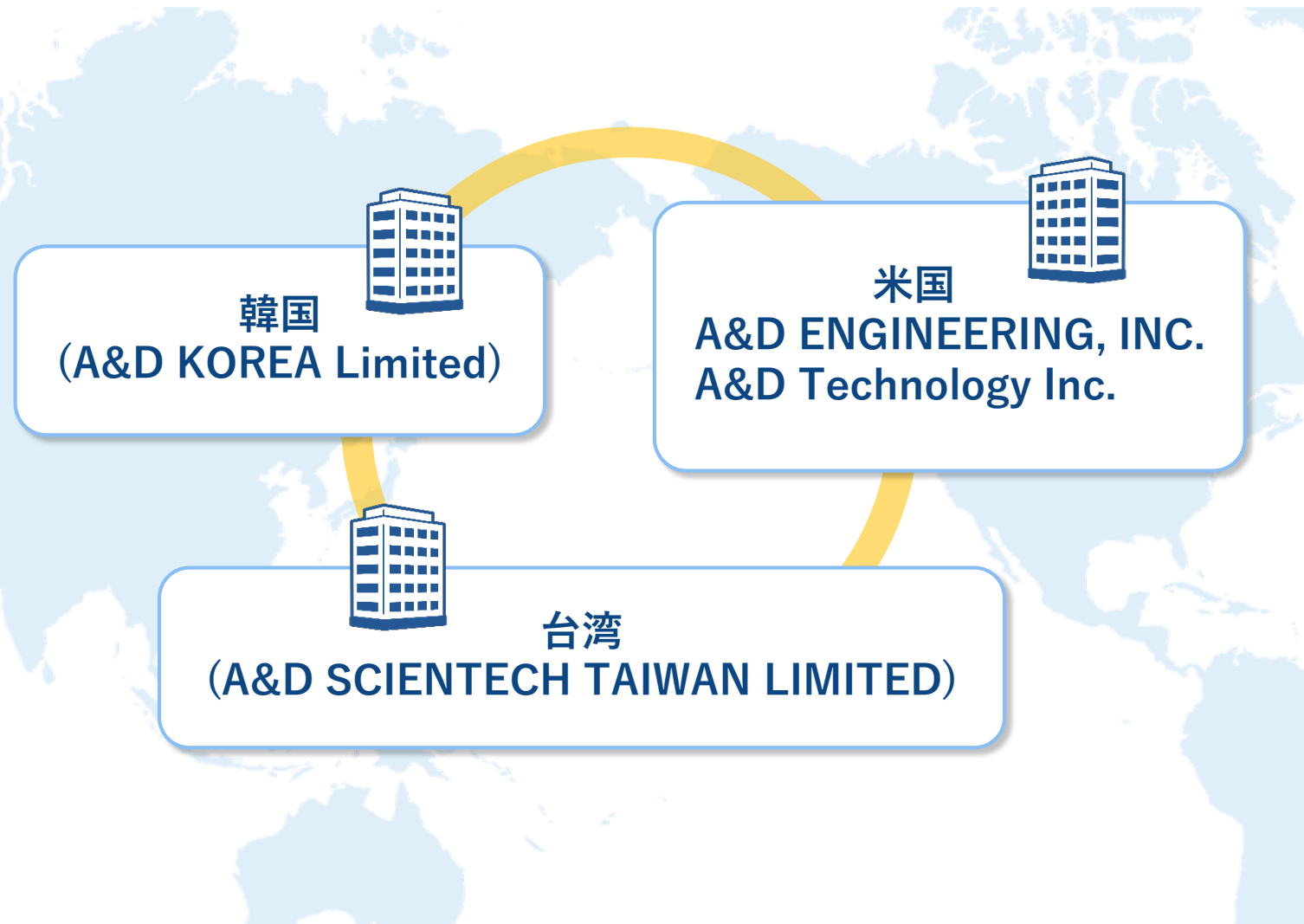
WFS(ホイール分力計) WPS(ホイール姿勢センサ) WFS(ホイール分力計)
LGS(レーザー対地センサ) LGS(レーザー対地センサ)

車載統合計測システム (VMS)

| Contents

1	2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2	2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3 	2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4	2023年3月期通期業績予想	(上方修正)	P20
5	株主還元		P24
6	APPENDIX		P26

A&Dの既存の海外拠点を活用



進捗状況

調達力強化

購買機能や購買情報を共有化することにより、半導体部材の調達力が強化

共同開発体制の構築

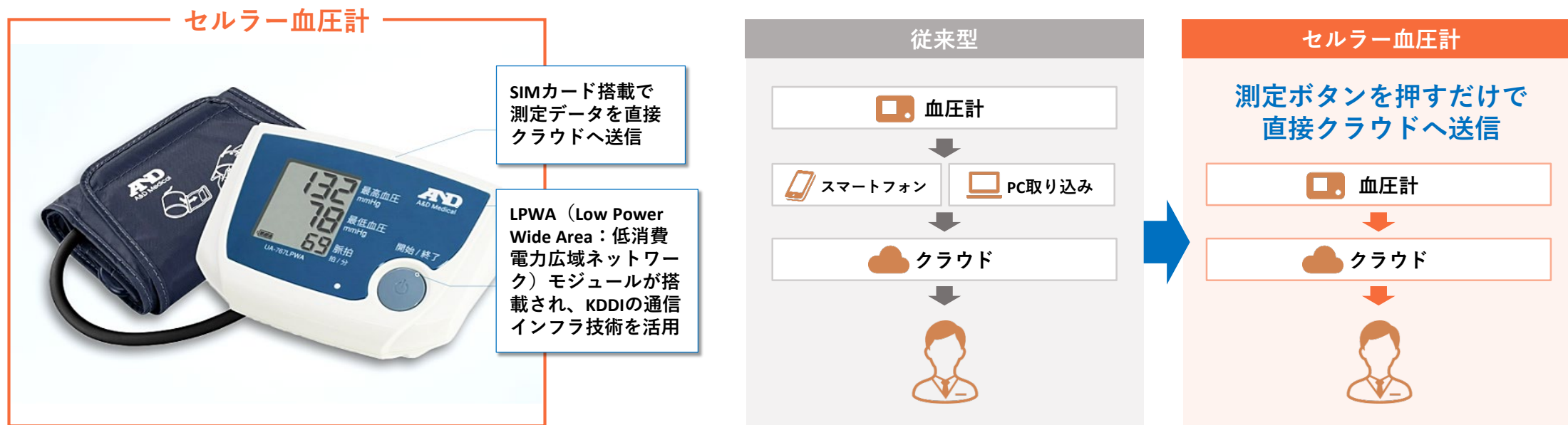
A&Dの開発者がホロンに出向するなど共同開発体制を構築中

サービス体制の強化

A&Dの海外販売拠点を半導体関連事業のサービス拠点として活用すべく準備を進める

セルラー通信機能を搭載した「セルラー血圧計」を開発、国内の医療機器認証を取得

スマートフォンやPCを介さず、誰でも簡単にボタンひとつで血圧のデジタル管理が可能となり、遠隔医療、地域医療に必要な血圧データ収集ソリューションを提供

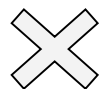


医療DX

政府の「医療DX推進本部」が2022年10月に発足
遠隔利用やオンライン診療を推進するには医療機器のDX対応が必要不可欠です
A&Dは医療DXの分野での製品開発も積極的に進めています

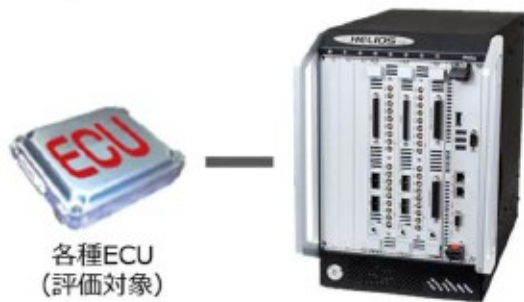
電動車開発向けリアルタイムシミュレータ「EV-Sim HELIOS Edition」を共同開発 22年5月に本格販売開始、EV需要を取り込み販売堅調

車両の電動化が一層進むことに合わせ、お客様の要望に合わせた機能追加などの柔軟な対応を行うことで販売力を強化し、さらなる販売拡大を図ります



EV-Sim HELIOS Edition (全体イメージ)

・机上に設置が可能なコンパクトサイズ
サイズ：W:224.84/H:350/D:403mm
重量：約11.6kg



新規開発

高精度モデル
モータ/昇圧コンバータ



実装

車両/制御/バッテリー
(お客様ご準備)



実装

大容量
FPGAボード(※)



CPUボード

制御開発・検証の
開発期間を
大幅に短縮

開発の
効率化に
貢献

「EV-Sim HELIOS Edition」は実機相当の高精度モデル（モータ/昇圧コンバータ）を用いて電動車をリアルタイムシミュレーションすることで、従来は実機で評価していた内容を机上で可能にする

※FPGA：Field Programmable Gate Array の略で、何度でも書き換えられるデジタル回路の電子部品

| Contents

1	2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2	2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3	2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4 	2023年3月期通期業績予想	(上方修正)	P20
5	株主還元		P24
6	APPENDIX		P26

2023年3月期通期業績予想の修正

世界経済の先行き不透明感を考慮するも、好調な受注状況や為替の動向を鑑み、通期業績予想を上方修正

(単位：百万円)

連結損益	23/3期 A & D ホロンHD 当初予想 (22年5月12日公表)	23/3期 A & D ホロンHD 修正予想 (22年11月8日公表)	増減率	22/3期 A & D 通期実績	前期比
売上高	53,800	57,500	+6.9%	51,736	111.1%
営業利益	6,000	6,100	+1.7%	5,496	111.0%
経常利益	5,870	6,222	+6.0%	5,604	111.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,990	4,092	+2.6%	3,573	114.5%
1株当たり 当期純利益 (円)	145.48	149.18	+3.7円	172.92	-23.74円

想定為替レート：当初予想において1ドル=120円、1露ルーブル=1.5円を修正予想では1ドル=130円、1露ルーブル=2.0円で算出

事業別環境

半導体関連事業		半導体需要の急速な高まりを受け半導体装置メーカーの設備投資拡大 当社主要顧客の先端投資は今後増々活況となり旺盛な需要は中期的に継続 ただし、米国による中国向け輸出規制強化などの環境変化には注視が必要
計測・計量 機器事業	計測機器	産業用設備投資の回復に伴い計測機器需要も増加傾向 計量機器は、二次電池製造をはじめとするEV関連投資拡大に伴う生産設備用の計量器需要が増加
	計量機器	
	DSP機器	
医療・健康 機器事業	医療機器	前期のような需要の高まりはいったん落ち着くと見込むものの、医療のデジタル化推進及び医療インフラ整備に伴う中期的な投資拡大により需要は増加傾向
	健康機器	個人での健康意識の高まりおよびデジタル化推進に伴いICT健康機器の需要増加、特に日本及び米州での需要増を見込む ただし、米国でのインフレ懸念による消費者意識の変化には注視が必要

外部環境の変化への対応

- 為替の急激な変動
- 部材調達難、原材料・資源および輸送コストの高止まり



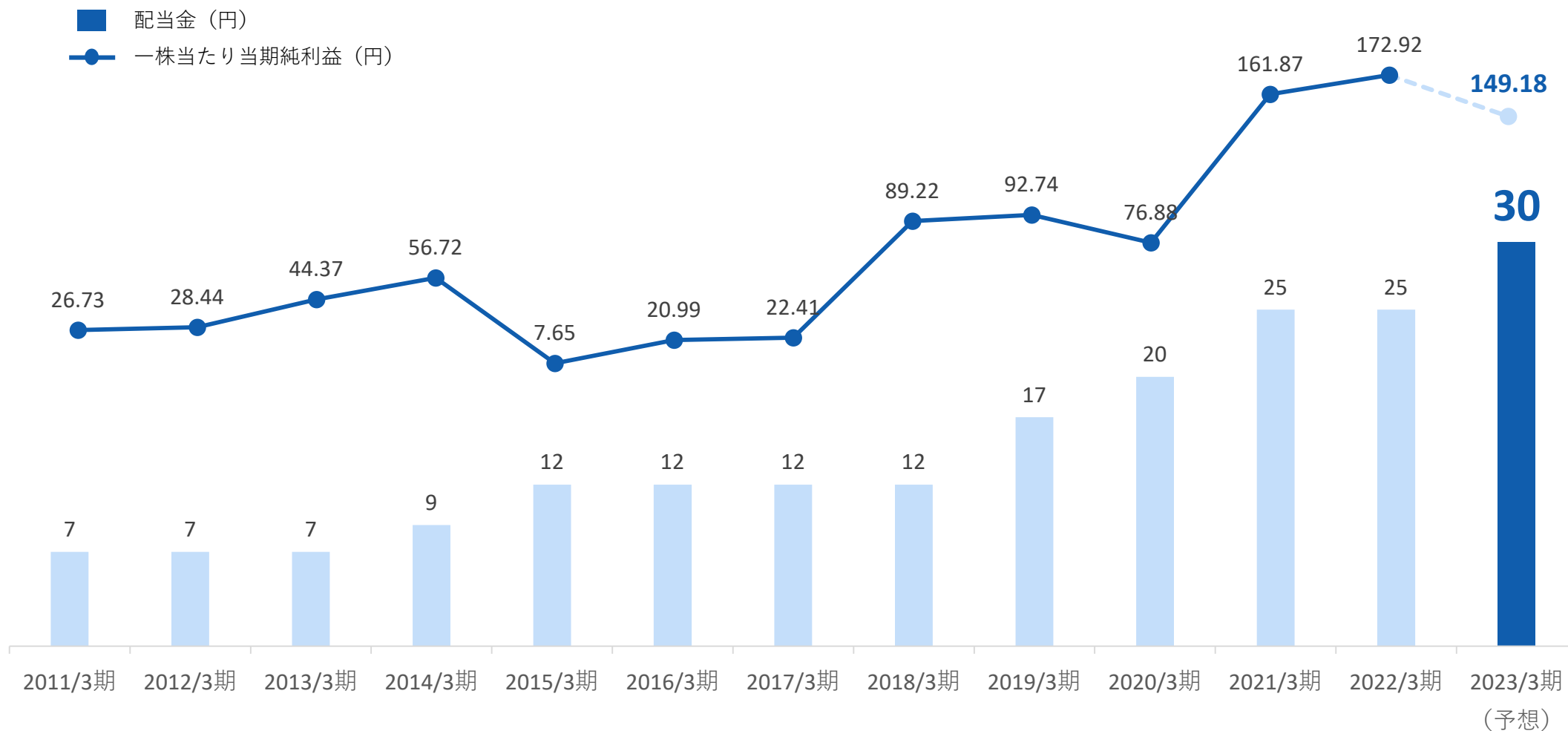
- 徹底した在庫コントロール
- 部材調達の強化や製造・出荷管理の徹底
- 国内生産体制の強化及び最適化
(国内生産子会社3社の合併、日本向け製品の国内生産化推進)

単位：百万円		23/3期 当初予想	23/3期 修正予想	増減率	22/3期 (実績)	前年同期比
半導体関連事業		6,400	6,732	+5.2%	5,082	132.5%
計測・計量 機器事業	計測機器	3,150	2,368	-24.8%	2,655	89.2%
	計量機器	18,460	19,076	+3.3%	17,235	110.7%
	DSP機器	6,680	6,171	-7.6%	5,227	118.0%
	小計	28,290	27,615	-2.4%	25,119	109.9%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,220	4,006	-5.1%	4,370	91.7%
	健康機器	14,890	19,147	+28.6%	17,164	111.5%
	小計	19,110	23,153	+21.2%	21,534	107.5%
売上高合計		53,800	57,500	+6.9%	51,736	111.1%

| Contents

1	2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2	2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3	2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4	2023年3月期通期業績予想	(上方修正)	P20
5 	株主還元		P24
6	APPENDIX		P26

2023年3月期年間配当（予想）は2022年3月期から5円増配の30円



| Contents

1 2023年3月期第2四半期	決算概要	P3
2 2023年3月期第2四半期	セグメント別業績	P11
3 2023年3月期第2四半期	トピックス	P16
4 2023年3月期通期業績予想（上方修正）		P20
5 株主還元		P24
6 APPENDIX		P26

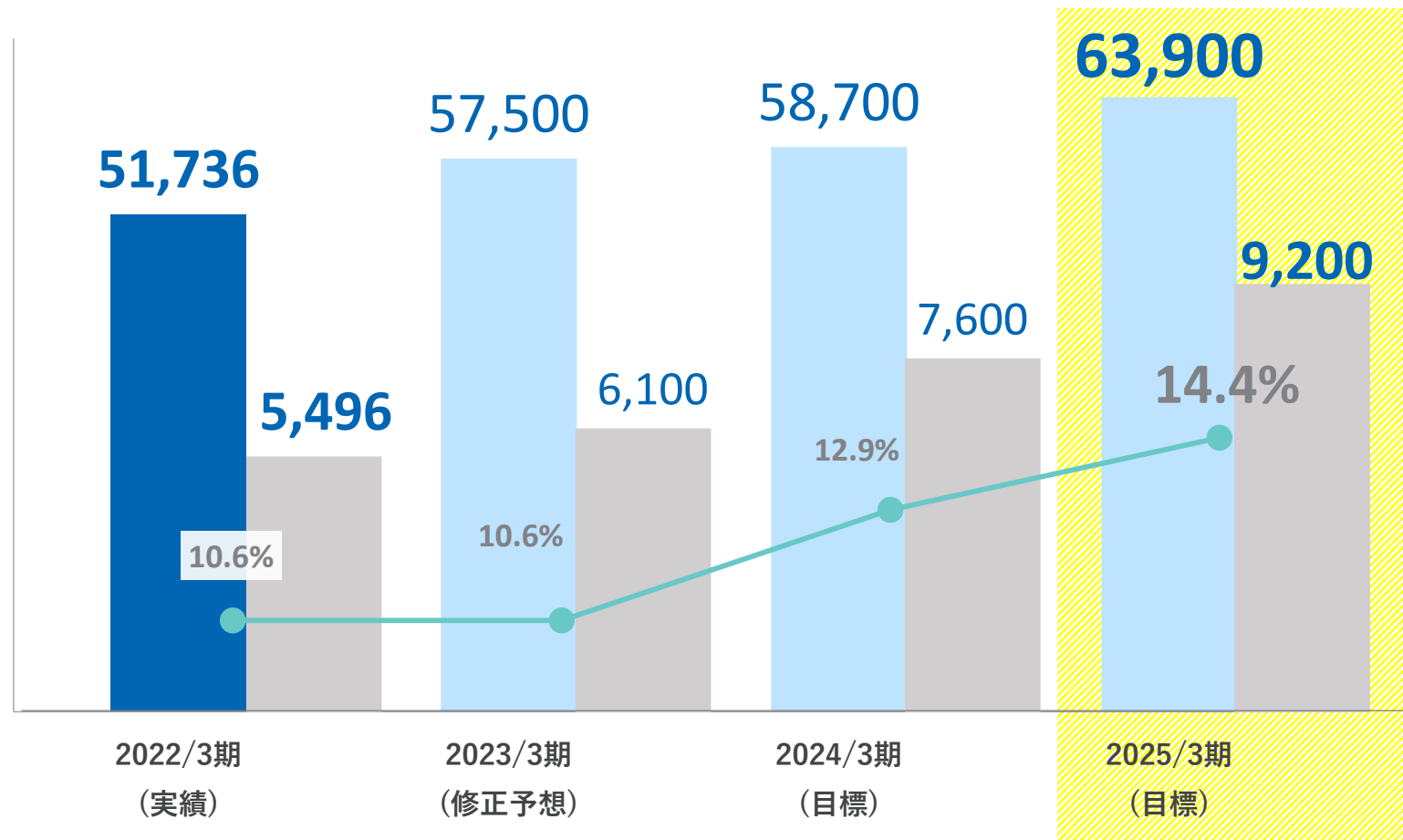
(単位：百万円)

	22/3期 2 Q 累計	23/3期 2 Q 累計	前年同期比
売上高	23,876	27,162	113.8%
半導体関連	2,128	2,648	124.4%
計測・計量機器	11,632	13,153	113.1%
医療・健康機器	10,115	11,359	112.3%
売上原価	13,324	15,965	119.8%
半導体関連	941	1,136	120.8%
計測・計量機器	6,772	7,675	114.2%
医療・健康機器	5,468	6,189	113.2%
販管費	8,417	9,370	111.3%
半導体関連	566	666	117.6%
計測・計量機器	4,449	4,661	104.7%
医療・健康機器	2,615	3,201	122.4%
営業利益	2,134	1,826	85.6%
半導体関連	620	845	136.2%
計測・計量機器	460	817	177.3%
医療・健康機器	2,032	1,969	96.9%

中期経営計画数値目標

23年3月期の通期業績修正予想数値を反映

(単位：百万円)



2025年3月期

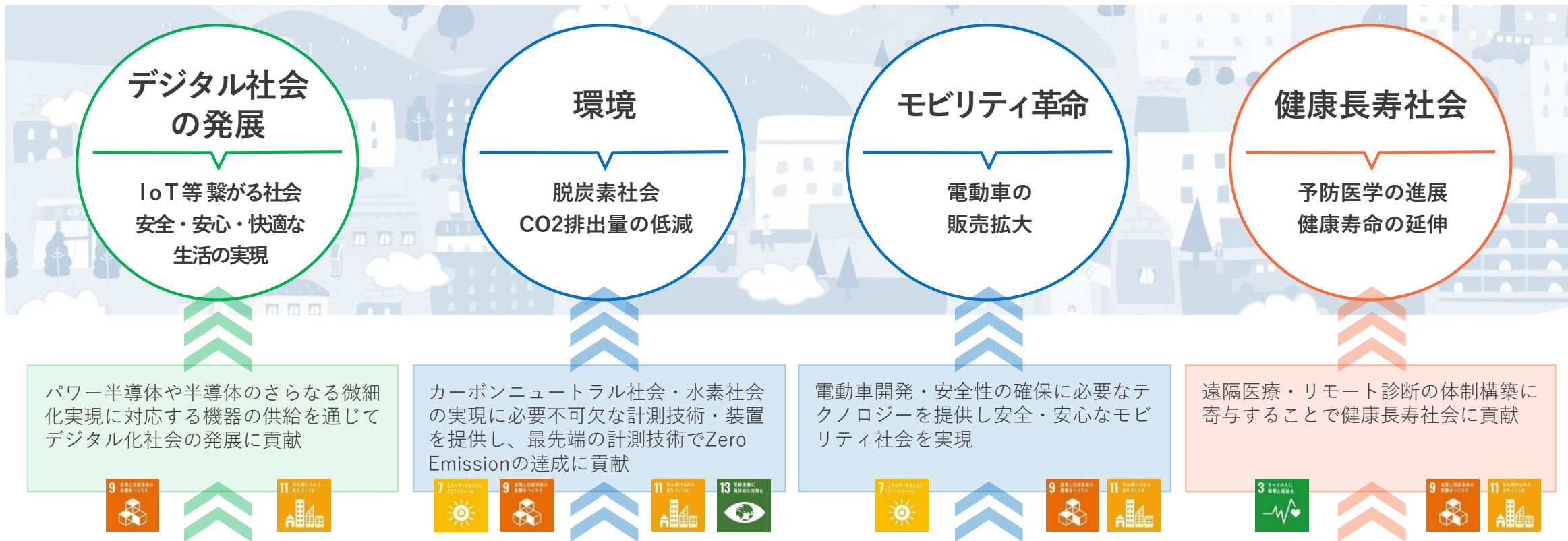
売上高
22/3期比
123.5%

営業利益
22/3期比
167.4%

※詳細については、2022年5月19日開示「[経営統合後の中期経営計画](#)」をご参照ください

単位：百万円	2022/3期 (実績)	2023/3期 (修正予想)	2024/3期 (目標)	2025/3期 (目標)	対2022/3期 増加額	対2022/3期 増減率	
半導体関連事業	5,082	6,732	7,780	8,960	3,877	+76.3%	
計測・計量 機器事業	計測機器	2,655	2,368	3,540	3,900	1,244	+46.9%
	計量機器	17,235	19,076	19,900	21,570	4,334	+25.1%
	DSP機器	5,227	6,171	7,580	8,260	3,032	+58.0%
	小計	25,119	27,615	31,020	33,730	8,610	+34.3%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,370	4,006	4,410	4,670	299	+6.9%
	健康機器	17,164	19,147	15,490	16,540	▲624	-3.6%
	小計	21,534	23,153	19,900	21,210	▲324	-1.5%
売上高合計	51,736	57,500	58,700	63,900	12,163	+23.5%	

A & D ホロンホールディングスは、環境に配慮し持続可能な社会の構築に貢献するため、事業を通じてさまざまな社会課題の解決に貢献していきます。



半導体関連事業

計測・計量機器事業 DSP機器

医療・健康機器事業

「健康経営優良法人2022」に認定

株式会社エー・アンド・デイは、経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度において、2021年度の認定に続いて2022年度も「健康経営優良法人」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優れた健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

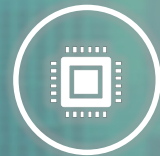
今回の認定を受け、より一層社員の健康増進および皆様の健康な生活に貢献できる取り組みを推進してまいります。



株式会社エー・アンド・デイは、経営理念の実現のため、「こころ」「からだ」「職場環境づくり」に重点を置いた健康経営宣言を制定しています。計測・計量・医療・健康機器メーカーの株式会社エー・アンド・デイは、お客様の健康をサポートする製品をご提供するためには、まず全社員が心身ともに健康であることが重要との考えから、この健康経営宣言を基にいままで以上に健康経営に取り組んでまいります。



わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。



デジタル
社会



環境

カーボン
ニュートラル



医療

健康長寿
社会



「はかる」をコアとした技術革新

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス